

令和4年度 第1回 高山市総合計画審議会 会議録（要旨）

日 時：令和4年11月30日（水） 10時00分～11時40分

場 所：高山市役所地下 大会議室

出席者：高山市総合計画審議会委員 25名

（欠席者5名） ※別紙名簿のとおり

高山市副市長、企画部長、企画課長、海外戦略課長、企画係長、SDGs推進係長

会議内容（次第）

1. 開会

市あいさつ（上田企画部長）

2. 会長及び副会長の選出について

会 長 （堀委員）

副会長 （谷口委員）

3. 議事（議長：堀会長）

(1)(2) 地方創生交付金事業の令和3年度評価・検証及び令和4年度取組状況について

資料に基づき事務局が説明

村上委員

- ・「外国人向けワンストップ医療窓口設置事業」について、対応する病院を教えてください。

永田海外戦略課長

- ・医療窓口のメインは高山赤十字病院で、そこで受けきれない場合は久美愛厚生病院で対応する。

清水委員

- ・医療窓口の利用件数を教えてください。

永田海外戦略課長

- ・先月は1件の利用があった。コロナが落ち着き、外国人旅行者が増えてくれば、今後さらに利用者は増えていくと思う。

桑谷委員

- ・医療窓口の周知方法を教えてほしい。

永田海外戦略課長

- ・事業者向けに、ホテル、旅館業、医療機関に対して、4月と10月に説明会を開催した。

大野委員

- ・村半について、利用者以外でも、観光客などぶらっと立ち寄れるようにしてほしい

清水企画課長

- ・外から見て分かりにくいところもあるため、入口付近でスタッフがお声かけするなどの対応をしている。

岩塚委員

- ・村半について、高校生や中学生が自発的に集まったり、市と連携してイベントを行っている。若者たちがチャレンジする場となっており、すごく機能していると感じる。
- ・資料1-②の事業評価シートの中で、「地元に着愛を感じている高校生の割合」について、実績値はあるのか。

清水企画課長

- ・総合計画の策定や見直しに合わせて、5年に1回アンケートをとっているため、昨年の実績値はない。来年度には、アンケートの実施を予定している。

(1)(2)について了承

(3) 高山駅西地区まちづくり構想の策定について

資料に基づき事務局が説明

仲委員

- ・伝統木造の構造的な研究しているところは、高山市と金沢市と京都市の3カ所だけである。駅西に整備する建物では、木造や伝統工法を用いた整備も検討してほしい。駅東の古い伝統的な木造の地域に対し、駅西は新しい木造の考え方を持つことにより、全国的に注目を浴びると思う。

唐谷委員

- ・岐阜市に、ぎふ木遊館という県の施設があり、子どもたちが木と触れ合える施設がある。ぜひ一度見てほしい。高山市は木の国なので、小さいころから親と子供が木と触れ合える場も検討してほしい。

小林委員（高山青年会議所）

- ・事業者提案について、特に参考資料がないが、具体的にどのような提案があったのか。

牛丸企画係長

- ・事業者とは意見交換を主に行っており、具体的な提案はない。

長瀬委員

- ・高山市はSDGsを推し進めており、社会、環境、経済の3つの枠組の中で、エリアのゾーニングをしていくなど、現在の思いと将来のビジョンをしっかりとって計画を進めてほしい。
- ・P.10に「ふれあい」「にぎわい」「つながり」という表現があるが、ここに防災・危機管理の視点として「そなえ」という考えを入れることも検討していただきたい。

大野委員

- ・市民アンケートの自由意見には、とてもいい意見がたくさんある。十分取り入れてほしい。

鴻巣委員

- ・市民がJRや高速バスを利用しやすくなるよう、市民が無料で使える駐車場も検討してほしい。

桑谷委員

- ・市民アンケートについて、10代比率が非常に高いが、人口比率で補正するなどして分析しているのか。

清水企画課長

- ・年代別にクロス集計して傾向を見るなどの分析をしており、人口比率での補正は実施していない。

(3)について了承

(4) 意見交換

第八次総合計画における今後の取り組み、
次期総合計画（第九次）の策定に向けて

資料に基づき事務局が説明

清水委員

- ・コロナ禍で先が見えてこない状況であるが、高山市は、空気がおいしい、山が見える、景観が良い、植物が多様など、地域の特性を活かし、自然と向き合い、遊び心の持てるような都市にしていくのがいいのではないかと。

丸山委員

- ・駅西地区のまちづくり構想は建物整備に焦点があたりがちだが、コンセプト等よくまとめられている。絵に描いた餅とならないよう具現化してもらいたい。
- ・市長公約の中で、「福祉・医療分野」について記入があるが、心の支えという視点を持ってほしい。今後のまちづくりや九次総合計画にも反映してほしい。高山市の自殺する人口比率が、全国や県内と比べて高い。

川原委員

- ・駅西地区のまちづくりにあたっては、南小学校が地域内にあることを考慮してほしい。
- ・指定管理者制度の委員もしているが、観光施設の機能について不十分と見られるものがある。観光都市として、皆さんの意見を聞きながら進めていってほしい。

鴻巣委員

- ・稲作農家は肥料代の高騰などによって赤字経営となり、離農される農家が増えている。自然環境や田園風景を守っていくのが難しくなってきた。若い人たちから知恵を出すなど何か対策を検討してもらいたい。

岩塚委員

- ・日本一広い高山市において、コロナ禍で子育て家庭の孤立・孤独化が進んでいる。地域ぐるみでの子育て環境が少しずつ進んでいるが、子育て家庭が孤立しないようなまちづくりを進めてほしい。
- ・防災の視点で、地域力を上げる、高める取組みが重要である。

仲委員

- ・市長プロフィールをみるとデンマークに住んでいたことがあると書いてある。デンマークは幸福度が高いが、どうして幸福度が高いのか研究してほしい。コペンハーゲン観光都市だがゴミが落ちてない。そこにも大きなヒントがあると思う。

村中委員

- ・介護保険では対応できない高齢者の方の有償ボランティアをしているが、介護の人材不足や買い物、灯油入れといった問合せも多くなっている。介護や福祉の業界は人材不足が深刻となっているが、携わる皆さんは心をエネルギーや活動のパワーとして頑張っている。「心」がキーワードだと思う。
- ・地域の方が、地域の方を支える仕組みづくり、それがまちづくり協議会だと思う。

小林委員（高山青年会議所）

- ・市出身の若者の中には、高山市に魅力を感じている人が多く、市外に居ても高山を支えたいと思っている方は多い。次年度、高山市に事業所がなく、住民登録がない人も高山青年会議所に入会できるよう考えている。住民登録している人だけが高山市民ではないという観点を持つと面白くなっていく。高山と都会に交互に住むというような二地域拠点の方もおり、今後は、そういった観点を総合計画に入れてほしい。

堀会長

- ・委員の皆さまからのご意見をふまえて、総合計画の推進、また9次総合計画の策定作業にあたられるようお願いする。

4. その他

特になし

5. 閉会

市あいさつ（西倉副市長）

高山市総合計画審議会 委員選出団体一覧

任期:R4.6.1~R6.5.31

No.	団体等名称	役職等	氏名	出欠(11/30)
1	高山市観光連絡協議会	会長	堀 泰則	○
2	高山商工会議所	副会頭	蓑谷 雅彦	欠席
3	高山市商店街振興組合連合会	副理事長	松葉 早百合	欠席
4	高山金融協会	会長	古瀬 博康	○
5	連合岐阜飛騨地域協議会	事務局長	谷口 寛子	○
6	高山市農業委員会	会長	鴻巣 明久	○
7	飛騨農業協同組合	代表理事組合長	谷口 壽夫	欠席
8	飛騨高山森林組合	代表理事組合長	唐谷 清司	○
9	社会福祉法人高山市社会福祉協議会	事務局長	丸山 永二	○
10	高山市民生児童委員協議会	委員	村中 美耶子	○
11	特定非営利活動法人飛騨高山わらべうたの会	理事長	岩塚 久案子	○
12	高山市連合長寿会	副会長	清水 健一	○
13	高山身体障害者福祉協会	理事	小林 幸長	○
14	(一社)高山市医師会		加藤 早千代	欠席
15	高山市教育委員会	委員	桑谷 康弘	○
16	高山自動車短期大学	学長	坂井 歩	○
17	高山市社会教育委員会議	委員	嶋田 喜美子	欠席
18	(一社)高山市文化協会	理事	北平 真由美	○
19	高山人権擁護委員協議会	事務局	倉坪 栄一	○
20	高山市町内会連絡協議会	会長	川原 正巳	○
21	大八まちづくり協議会	会長	笠井 新治	○
22	国府町まちづくり協議会	会長	蒲 誠	○
23	(公社)高山青年会議所	理事長	小林 幸平	○
24	高山国道事務所	所長	栗山 健作 (代理 副所長 加藤正臣)	○
25	高山市快適環境づくり市民会議推進委員会	委員	村上 千恵	○
26	たかやま林業・建設業協同組合	専務理事	長瀬 雅彦	○
27	高山市景観町並保存会連合会	会長	大野 二郎	○
28	(一社)岐阜県建築士事務所協会	飛騨支部長	仲 康信	○
29	高山市消防団	団長	西 明浩	○
30	岐阜新聞・岐阜放送ひだ高山総局	総局長	森嶋 哲也	○